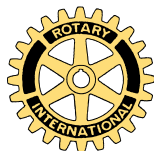


THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 嶋津孝久
幹事 野村紀代彦
会報委員長 横山宜幸

2012～2013年度 国際ロータリー 田中作次 会長テーマ

Peace Through Service 奉仕を通じて 平和を

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2781回例会プログラム

[当年度=15回目；当月=1週目]

2012年（平成24年）11月5日（月）

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……………〈会長〉
3. 開会宣言
4. 国歌斉唱
5. ロータリーソング斉唱……………奉仕の理想
6. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
7. 食事
- 12:45 8. 会長挨拶並びに会長報告
9. お祝い
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)
10. 幹事報告
11. 出席報告
12. 委員会報告
13. ニコニコボックス報告
14. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(11/12) ……
職場例会（職業奉仕委員会）
12:30～13:00 例会（刈谷商工会議所）
(移動)
13:15～14:15 庁舎見学(刈谷市役所)
(11/19) ……
卓話 「カンボジアに魅せられて」
講師 株式会社ジーアイシー
社長 加藤 重和 様
(名古屋和合 RC)
(紹介者 廣根 実 会員)
- 13:00 15. 本日のプログラム
卓話 「プラズマ ～意外と身近な先進技術～」
講師 プラズマ技術産業応用センター
産業応用部長 青木 猛 様
(紹介者 今村 順 会員)
16. 謝 辞

17. 点 鐘……………〈会 長〉

18. 閉会宣言

13:30 19. 散 会

ゲ ス ト

プラズマ技術産業応用センター
技術移転ディレクター 竹中 修 様

出 席

会員総数 92名 出席免除 28名
出席義務者+免除者の内例会出席者 87名
欠席 12名 出席率 86.21%
前々回（10/22）の修正出席率 100%

会 長 報 告

- 1) 例会前に第1回次期理事役員候補者指名委員会を開催しました。委員は
- | | | |
|----|-------|----------|
| 委員 | 中村美智雄 | (会長経験者) |
| 委員 | 橋本 恭典 | (会長経験者) |
| 委員 | 塚本 幸夫 | (会長経験者) |
| 委員 | 岡本 巧 | (会長経験者) |
| 委員 | 太田宗一郎 | (会長経験者) |
| 委員 | 杉浦世志朗 | (直前会長) |
| 委員 | 嶋津 孝久 | (会 長) |
| 委員 | 水越 彌生 | (副 会 長) |
| 委員 | 鈴木 豊 | (会長エレクト) |
| 委員 | 野村紀代彦 | (幹 事) |
| 委員 | 小川 耕示 | (副 幹 事) |
- 以上11名
です。委員会において委員長 中村美智雄会員に決定した事をご報告します。
※会員の皆様には、次年度の理事役員候補者の推薦がございましたら、11月30日（金）までに、指名委員にお申し出下さい。
- 2) ガバナー事務所より、2015-2016年度ガバナーノミニー選出の報告がきています。瀬戸ロータリークラブ所属の加藤陽一会員です。

動脈瘤の話

嶋津 孝久



先週は妻が入院をしていました。一部の会員の方にはご心配やお見舞いの声をかけていただき、ありがとうございました。幸い無事退院し、現在は全く普通の生活をしております。

脳動脈瘤の手術をしたのですが、経過をお話ししますと、9月の中旬に妻より、「めまいがして、胸が苦しい。」との電話がありました。急いで帰宅し、刈谷豊田総合病院の救急外来へ行きました。この件は心配するようなことはなかったのですが、念の為に撮ったMRIで「脳動脈瘤」が発見されました。その結果、9月27日に脳に造影剤を入れての撮影（入ったばかりの最新の機械だそうです）をしました。この検査は約2時間で、家族の立ち合いが必要と言われました。これが2泊3日の入院でした。これで、動脈瘤の直径が7mmであること。5mmがボーダーラインで、これ以上になると破裂＝くも膜下出血の危険があること。くも膜下出血を起こすと、3割が死亡、3割が全快、4割は何らかの後遺症が残る、との説明を受けました。それで、手術を選択しましたが、血液をサラサラにする薬を2週間以上服用の必要があるとの事で、10月22日(月)と決まりました。

手術は太腿からカテーテルを入れて、動脈瘤の中にプラチナのコイルを埋めていくというものでした。動脈瘤の部位によっては、開頭手術を選択することもあるようです。手術は3時間位かかりましたが、部分麻酔で意識はあったそうです。その後、集中治療室に入りましたが、夕食は普通に出了のでビックリしました。予定では24時間は集中治療室にいるはずだったのが、夜中の2時頃に一般病棟へ移されたと言っていました。これは、妻の症状が軽かったということだったのでしょうか。その後は太腿の動脈が内出血して再手術の危険もありましたが、無事1週間で退院し、現在に至っております。

最後に、動脈瘤は破裂するまで自覚症状は無いそうです。また、どちらかというと、女性に多いそうです。会員の皆や奥様・お嬢様で、一度も脳ドックを受けていない方は、ぜひMRIの検査をお奨めします。

- 11月の会員の誕生日…伊藤禎康、加藤哲也、桂木正樹、津田鎮輔、小原正彦、丹羽克誌会員。
- 配偶者の誕生日…霜出恵子（俱弘）、神谷登志子（光義）、堀康子（正剛）、太田典子（宗一郎）、伊藤裕子（禎康）、岩瀬昌子（正人）、市川嘉子（裕大）、深谷眞理（嘉英）、關香（淳之）様。
- 結婚記念日…市川裕士、平野和一、羽田育哉、霜出俱弘、塚本幸夫、権田銀弘、竹内一正、三品康雄、津田鎮輔、岩瀬正人、鈴木文三郎、天野櫻子、小川耕示、小原正彦会員。
- 11月度入会記念日…堀正剛、石原鈞、大音祖瑛、山下雅則、吉岡秀記会員。

「プラズマ ～意外と身近な先進技術～」

(公財)名古屋産業振興公社
プラズマ技術産業応用センター
産業応用部長 青木 猛 様



空気清浄器などテレビのCMで良く見聞きするようになった“プラズマ”は、先進ナノテクノロジーでありながらも意外と身近なものに使われています。携帯電話から家電、自動車に至るまで、それらを動かすのに欠かせない電子チップなどの半

導体製品は、その製造工程の約7割でプラズマが使われると言われていてます。

近年、このプラズマ技術がものづくりだけでなく、バイオ、食品、医歯薬分野にも応用範囲が広がり、世界中の研究機関が精力的に研究開発に取り組んでいます。様々な



分野・産業に用いられて無限の可能性を秘めているプラズマ技術について、簡単に概要をご紹介します。

●プラズマとは：大気圧下で気体を数千度まで加熱したり数千ボルトの高電圧をかけたりますと、気体分子の一部から電子が飛び出して電気を帯びた（イオン）状態の分子と電子の混合状態になり光り始めます。この帯電した光るガス状態をプラズマ（状態）と言います。つまり、プラズマは固体、液体、気体に続く第4の状態を言います。プラズマは目的に応じて大気、液、低压容器の中で発生させることができ、最新のテクノロジーは写真のように手で触れることのできる低温プラズマをつくることもできます。このプラズマ中のイオンや電子、分子は高エネルギーを有するため、何かの表面に触れると強力な物理・化学反応を引き起こします。この反応が物質の表面で超緻密に行われるため、